津田塾大学学芸学部多文化・国際協力学科
「フィールドから学ぶ」シリーズ

「食」から考える
多文化共生

おもしろくておなかが空く、まじめな講演会

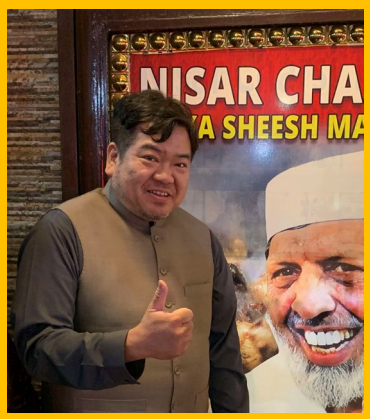
今年も、担当教員の斎藤が「異国飯の師」と仰ぐ大好きなお二人をお招きし、
日本の多文化共生社会について「食」という身近な観点からお話ししていただきます。
お二人のテンポ良い会話は楽しく、勉強になり、そして考えさせられます。

日時：2026年1月23日(金)14:40－16:10

場所：小平キャンパス 1111

「マルチリンガリズム」の講義中に実施します。
受講生以外の方のご参加も歓迎します。
学外の方は、当日に守衛所にて受付後、教室でお待ちください。

ゲストスピーカー



映像ディレクター
比呂啓

1972年生まれ。映像を学ぶために渡ったアメリカで多くの移民と彼らの料理に魅了される。帰国後は映像ディレクターとしてテレビ番組制作に携わる傍ら、“Ethnic Neighborhoods”や「パキスタンチャンネル」のYoutubeでの運営、同人誌『この広い世界を知るための10皿』シリーズ(中東編・アジア編・西部アフリカ編)『Pakistan Zindabad~私のパキスタン体験記』の執筆などを通じて、食を通じて移民との理解を深める活動をし、テレビや講演会でも活躍中。

ジャーナリスト
室橋裕和

1974年生まれ。週刊誌記者を経てタイに移住し、10年間現地で取材活動を行う。帰国後はアジア専門のライター、編集者として活動。現在は日本最大の多国籍タウン、新大久保に移住。外国人コミュニティと密接に関わり合いながら取材活動を続けている。『カレー移民の謎　日本を制覇する「インネパ」』『北関東の異界　エスニック国道354号線　絶品メシとリアル日本』『ルポ新大久保　移民最前線都市を歩く』など著書多数。講演活動も多数。武蔵野大学非常勤講師。

主催　多文化・国際協力学科